

森町産業祭「もりもり2万人まつり」に出店し、太田川ダムの紹介をしました。

毎年、太田川ダム建設地の地元である森町の産業祭「もりもり2万人まつり」に出店し、ダム事業の紹介を行っています。今年は11月10日（日）に森町文化会館で開催されました。

太田川ダム建設事務所では、県企業局と一緒に

- 事業の進捗状況、環境対策、水道事業などを紹介する各種パネルの展示
- 県企業局による天竜川と太田川の利き水（浄化した水の比較）コーナー
- ダムとその周辺の模型展示
- 事業を紹介する各種パンフレットの配布
- 現場発生木材を砕いて堆肥化したチップ材の配布

などのPRを行いました。

チップ材の配布は、用意した量が途中で品切れになるほど好評でした。

又、利き水のコーナーでは約250名の方に試飲していただきました。その結果、太田川の水は「まるやか」と非常に好評でした。



▲事業紹介のパネル展示

▲出店状況（手前が利き水コーナー）

▲ダム模型の展示

水道施設の整備状況

いよいよダム本体の工事が開始されます。

水道施設の整備も着々と進んでいます。

浜北市堀谷地区に給水する四大地ポンプ場も完成し、進捗率は14年度末で30.5%の予定です。



四大地ポンプ場

浜北市に毎日500トンの水道水を給水します。

- ・ポンプ 口径65mm 11kw × 2台
- ・揚程 57m



送水管の布設状況

太田川系の送水管は耐震管を使用しています。

- ・材質 ダクタイル鋳鉄管

起工式では記念碑の除幕を行いました。

起工式の記念行事では、記念碑の除幕（下記事）、天方幼稚園のみなさんによる夢の発信（表紙写真上）に続き、本体工事開始のスイッチが入れられました。（表紙写真下）

これから約6年間、工事の安全と環境に配慮しながら、工事を進めてまいります。

「記念碑」の除幕



片吹地区の地権者のみなさんが、地域の先人への感謝の念をこめて、記念碑をつくりました。起工式で記念碑が紹介され、参加いただいた方々の手で除幕しました。

記念碑は、神社など地域の公共物とともにダム湖畔に設置され、水の尊さと片吹地区の永き歴史を後世に伝えていきます。

仮排水トンネルが貫通しました。

平成14年11月12日、ダムサイト左岸地山に掘削中の仮排水トンネルが貫通しました。仮排水トンネルは、工事期間中にダム本体施工箇所へ川の水が入ってこないよう、川の流れを切り回すためのトンネルです。

これから、トンネル内部にコンクリートを巻き立てる（コンクリートの壁をつくる）作業に移り、平成15年6月頃には太田川の流れが完全にトンネルに切り替えられます。



▼下流側から掘り進められました。（下流側坑口）



▲貫通の瞬間です。白煙は発破によるものです。（上流側より）

環境対策の検討を行いました。

第2回太田川ダム環境対策連絡会を平成14年11月21日に開催しました。

午前の現地視察では、各工事現場で実施している環境対策を動植物の専門家、地元の代表、関係行政機関工事施工業者で構成する会員の皆様に説明しました。

午後の会議では、猛禽類や貴重動植物のモニタリング結果と今後の計画等について説明し、会員の皆様の確認をいただきました。

会員の皆様からは環境対策に関して貴重な意見をいただきました。学識会員からは、クマタカの繁殖状況を判断するために、過去の繁殖実績のとりまとめが必要であるとの意見が出され、地元会員からは、工事車両が通勤・通学等で人通りが多い時間帯に地元道路を通るときは、スピードに気をつけて安全に配慮してほしいとの意見があり、県ではそれぞれの意見に対応出来るよう努めてまいります。



◀濁水処理の効果を実験により確認しました。

▼トンネルの防音扉の設置等を確認しました。

